

1 mg×10, M.A.D 5 mg×10が性周期及び卵巣に對する作用力が最も正常に近くなる。正常成熟雄性に T.P, M.A.D を投與すると, M.A.D 5 mg×10以外の者は, 何れも豫定投與量に耐え得ずして, 妊娠期間は短縮し, 多くは妊娠中, 後半期に於て死胎仔を娩出し, その重量も少ない。即ち, アンドロゲンに拮抗抑制する腦下垂體前葉の性腺刺戟ホルモン分泌が過剰に起つた爲であると思ふ。多量のアンドロゲンに對しては腦下垂體は或限界迄しか抑制し得ないし, 子宮自體も之以上の胎仔發育に耐えずして妊娠は中絶し死胎仔の娩出が起る事となる。

38. 性ホルモンの雌性天竺鼠の實驗的結核症に及ぼす影響に就いて

(伊豆遞信) 佐藤 英五

女子の思春期結核症の豫後が不良であることの理由に就いては種々の因子が考慮されなくてはならないが, 私は思春期に於ける女子の特異な内分泌機能の活動開始と云う點を取りあげ, 卵胞ホルモン並びに黃體ホルモンが雌性天竺鼠の實驗的結核症に對して如何なる影響を及ぼすかに就いて, 細菌學的並びに病理組織學的實驗を行つたのでこゝに報告する。

[A] 實驗方法: i) 先ず豫備實驗を行い, 人型結核菌 H37Rv株の接種菌量, 定量培養に於ける臓器乳劑の稀釋倍數, 感染より屠殺迄の適當の期間等を調べた。ii) 本實驗: ツベルクリン反應陰性の體重350grより400gr前後の雌性天竺鼠に結核菌H37Rv株0.05mgを右鼠蹠部皮下に接種し, 實驗Iに於いては結核菌接種と同時に卵胞ホルモン及び黃體ホルモンを使用し, 實驗IIに於いては感染前に兩ホルモンを3週間使用し, 實驗IIIに於いては去勢した後結核菌を接種して實驗Iに準じて兩ホルモンを使用した。ホルモンは, 卵胞ホルモン1000單位, 黃體ホルモン0.2mgを1回量とし, 隔日に左下腹部皮下に注射した。

菌接種後3週目に屠殺し, 肺・肝・脾・子宮・肝門リンパ腺を小川氏の方法に依り定量培養を行い, 同時に病理組織標本を作成した。

[B] 實驗成績 i) 臓器リンパ腺定量培養成績: 小川培地に第4週に發生した集落數を各群に就いて比較した。(1) 實驗Iでは各臓器共卵胞ホ群は對照群に比し著明に多く, 黃體ホ群も又軽度増加の傾向を示したが, 對照群との差は僅少で, 脾に於いては逆に對照より少かつた。(2) 實驗IIでは黃體ホ群は對照に比し明らかに多く卵胞ホ群は各臓器共對照より少かつた。(3) 實驗IIIでは包胞ホ群は黃體ホ群に比し著明に多かつた。

ii) 病理組織學的檢查成績: 最も重要と考えられる脾に就いてみるに, (1) 實驗I: 對照群では結核結節は小さく數も少く類上皮細胞を主とし, 全く健常な濾胞も多數認める。卵胞ホ群では一般に結核結節の數は多く比較的大きい結節あり時に融合する像がみられ, 周邊の反應は強く類上皮細胞の離開が屢々みられ, 又中心部に壞死の認められるものも存在する。黃體ホ群では對照群と大差はない。(2) 實驗IIでは逆に黃體ホ群が結節が大きく數も多く融合の像がみられ, 中心部が屢々壞死になり血量も多い。卵胞ホ群では對照に比し明らかに軽度で結核結節の數も少く小さい。(3) 實驗IIIでは卵胞ホ群の病變が著明であつたが例數が少いので結論づける迄には至らなかつた。尚肺・肝・リンパ腺に於いても略々同様の傾向を示し, 而も對照との差は更に著明であつた。

ホルモンを結核感染前に使用した實驗IIの成績が實驗と相反する結果を得たことは, 腦下垂體前葉の性腺刺戟性の問題とも關連があるのではないかと考えられるが, 以上の所見より卵胞ホルモン, 黃體ホルモンは共に結核症に悪影響を與え, 卵胞ホルモンに於いて特に著明であると考える。

39. 蛙蹠毛細管に及ぼす絨毛抽出液並びにホルモンの影響

(京府大) 志多半三郎, 芦田義雄

私共はトノサマ蛙の蹠分岐毛細管を顯微鏡下に觀察しながら血管徑の測定と血流停止を基準にして, その收縮に及ぼす胎盤絨毛の抽出液並にホルモンの作用を検討した。實驗に用いた胎盤は妊娠10カ月の終に正常分娩されたもので, これを24時間還流した後絨毛を目標に採取細切して2倍量の生理的食鹽水を加え, 24時間氷室内に靜置した後6重せるガーゼ濾過したものを遠心沈澱, その上清を試験液とした。

いま鹽酸エピレナミンの1萬倍から1億倍に至る各種濃度の溶液を作り, 蹠に滴下すると個性によつて多少の違いはあるが, 毛細管は毎常收縮を營み少くとも1萬倍濃度では血流の停止を來す。そこで豫め上記絨毛抽出液を蛙のりんば囊に注入しておいて, 注射10分後からエピレナミン溶血液を滴下するに, 毛細管の收縮並に血流の停止はエピレナミン單獨滴下の場合に比べて, はるかに稀薄な濃度であられる。またかような現象はエストロゲンの大量で, 前處置した場合にも起るが收縮の状態が異なり, 前者では攣縮様の形をとるに反し後者の場合には持續的であることを知つた。よつてこれらの詳細について述べると共に併せて行つた他のホルモン, 妊婦血清